

## 文献

- Aibert R. Jonsen, Mark Siegler, William J. Winslade. (2002/2006). 赤林朗, 蔵田伸雄, 児玉聡 (監訳). 臨床倫理学第5版. 新興医学出版社
- Erdman B Palmore. (1990/1995). 奥山正司, 秋葉聡, 片田順他 (訳). エイジズム. 法政大学出版局
- Erving Goffman. (1963/1970). 石黒毅 (訳). ステイグマの社会学. (pp. 15-16). せりか書房
- 井出訓. (2013). 第4章 高齢者の権利と倫理課題. 井出訓 (編). 老年看護学. (pp. 63-83). 放送大学教育振興会
- 宇治谷義雄. (1986). 第1章 老人福祉への歩み. 宇治谷義雄 (編). 老人福祉入門. (pp. 16-32). 川島書店
- Erik H. Erikson, Joan M Erikson (1982). ライフサイクル、その完結. 村瀬孝雄, 近藤邦夫 訳. みすず書房
- 大塚保信. (1995) ソシアル・ダーウィニズムとゆがめられた老人観. 九州大谷研究紀要, 22, 207-216
- 勝野とわ子. (2013). 第2章 わが国の高齢者と高齢者施策. 井出訓 (編). 老年看護学. (pp. 20-43) 放送大学教育振興会
- 環境省ホームページ <http://www.env.go.jp/> (2017/1/21 閲覧)
- 小島操子. (2004). 看護における危機理論・危機介入 フィンク/コーン/アグィレラ/ムース /家族危機モデルから学ぶ. (金芳堂)
- 鈴木和子, 渡辺裕子. (2015). 家族看護学理論と実践第4版. 日本看護協会出版会
- 総務省統計局ホームページ <http://www.stat.go.jp/> (2017/2/19 閲覧)
- Saylor, C., Yoder, M. & Mann, R. J. (2002/2007). 第3章 ステイグマ. 市橋恵子 (訳) I. M. Lubkin & P. D. Larsen (編). 黒江ゆり子 (監訳). クロニックイルネス—人と病の新たなかかわり. (pp. 43-63). 医学書院.
- 塚本容子. (2010). 第II章 18 健康ステイグマ理論. 野川道子 (編). 看護実践に活かす中 範囲理論. (pp. 343-359). メディカルフレンド社
- 辻正二. (2000). 高齢者ラベリングの社会学. 恒星社厚生閣
- 特定非営利活動法人日本緩和医療学会 (編). (2014). 専門家を目指す人のための緩和ケ

ア医療学. 南江堂

内閣府. (2016). 平成 28 年度高齢社会白書

Heather Stuart, Julio Arboleda-Florez, Noman Sartorius. (2012/2015). 石丸昌彦 (監訳). パラダイム・ロスト 心のスティグマ克服、その理論と実践. (pp. 169-171). 中央法規

深沢七作. (1964). 檜山節考. (pp. 37-105) 新潮社

矢野和美. (2016). せん妄のハイリスクと発症の予防法. 緩和ケア. Vol. 26. No2. pp. 98-102

山本克司 (2016). 日本の老人援護の歴史における高齢者虐待防止要因-古代から江戸時代まで-. 法政論叢 52 (1), 87-102.